

ききょう通信

2025年2月号



2025年2月5日発行

桔梗が丘自治連合協議会 広報委員会
〒518-0626 名張市桔梗が丘6番町1-131-4
TEL/FAX 65-1206 ✉koho@kikyogaoka.jp

6,039世帯・13,574人 (2025年1月1日現在)
+3世帯 +1人 (前月比)

桔梗の森公園を散策して 自然の豊かさを実感!

桔梗の森公園を散歩する人を多く見かけるようになりました。四季折々の自然に触れながら園内を周回する散歩は健康づくりと心身の癒しにつながっています。この時期には、冬鳥(渡り鳥)が飛来しています。

この公園は、快適環境部会、みどりの会、住民ボランティアの皆さんにより年間を通じて清掃活動、園路の補修、樹木の伐採等維持管理が行われ、きれいで安全な園路が確保されています。



ドウダンツツジの紅葉が綺麗な晩秋の公園 (2024.12.2)



うっすらと雪化粧の東屋と園路 (2025.1.9)



「桔梗の森公園」案内マップは市民センター窓口にあります

公園の水鳥



バン

くちばしの赤と黄色が目立つクイナ類。この公園で繁殖することがある。地上や浅瀬を歩いて植物や昆虫類を食べる。首を前後にゆすって腹高に浮いて泳ぐが速くない。



ヒドリガモ

冬鳥。オスは頭が茶色で、てっぺんが白く、首を水中に突っ込んで逆立ちして藻などを食べる。岸にも上がりよく草を喰う。ピュウーと口笛のような声で鳴く。



オオバン

冬鳥。頭の白色部が目立つクイナ類。よく潜り、藻などを引き上げて食べる。濡れないカモが園にありつこうと付きまとっていることが多い。クエーとがキョキーンとかよく響く高い声で鳴く。



ヨシガモ

冬鳥。オスの頭は青緑色の金属光沢が美しく、ナボレオン帽を深めにかぶった形をしている。小群で湖高にうき、藻などを採食する。あまり多いかモではない。



カルガモ

園内各地で普通に繁殖する唯一のカモ。この公園でも巣をつけた。水中に潜って藻や水草の葉、昆虫などを食べる。アヒルのようにグエーグエーと濁った声で鳴く。



ホシハジロ

冬鳥。オスは茶色い頭と黒い脚をしたカモ。群羽から数十羽の群れで藻などの植物質を食べる。飛び立つとき水風を蹴る。

桔梗が丘自治連合協議会快適環境部会

冬季限定の自然の恵み 冬鳥の飛来をバードウォッチング

快適環境部会では、毎年1月にバードウォッチングを開催し、多くの住民が参加して桔梗の森公園に飛来する冬鳥を専門家から説明を聴き、双眼鏡で観察しています。

樹々の間から野鳥の鳴き声を聞き、飛び交う姿を目の当たりにすることができる自然環境を守る大切さを実感します。

これからも桔梗の森公園の自然環境を地域の皆さんと守ってまいります。
快適環境部会長 上田 博



目の後方が緑色のアメリカヒドリを見付けるのも楽しみです
(2020.1.18 富士講田池にて)



1月11日(土)、50羽程のカモが戯れていました

地域共生社会の実現をめざして

令和7年1月号ききょう通信に掲載した「地域共生社会実現」を住民の皆さんと一緒に考え、地域ぐるみで取り組んでいくために特集記事を掲載することになりました。

名張市が進める地域共生社会

- 地域共生社会とは「子ども・高齢者・障がい者を含めたすべての人々が暮らしと生きがいを共に作り高め合える地域社会」と定義付けられています。
- 地域共生社会実現のために必要な3つの要素は、地域の力（地域づくり組織）、専門職の力（まちの保健室）、行政の力（コミュニティ施策と地域包括ケア施策を連動させる仕掛けをデザイン）であるとしています。

地域共生社会実現のための調査より（抜粋）

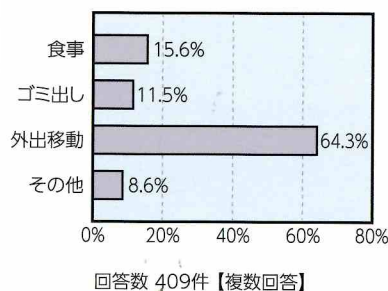
（資料提供：名張市福祉子ども部地域包括センター）

令和5年度 高齢者実態調査より（民生委員・児童委員さんが訪問調査）

調査時期 : 令和5年10月～令和5年11月
 調査対象者 : 70歳以上の一人暮らしの方、75歳以上の方のみの世帯、その他見守りが必要な方
 調査件数 : 全体 調査依頼数 7,644件 調査対象者数 7,823人 アンケート回答者数 6,704人
 桔梗が丘 調査依頼数 1,676件 調査対象者数 1,715人 アンケート回答者数 1,525人
 世帯の状況 : 全体 70歳以上の一人暮らし 3,064人 75歳以上の高齢者世帯 3,484人 その他 166人
 桔梗が丘 70歳以上の一人暮らし 592人 75歳以上の高齢者世帯 902人 その他 31人
 かかりつけ医 : 有 6,007人 (89.6%) 無 497人 (7.4%) 未回答 200人 (3.0%)
 健診受診の有無 : 有 5,470人 (81.6%) 無 991人 (14.8%) 未回答 243人 (3.6%)
 健康状態 : 良い 1,420人 (21.2%) 普通 3,756人 (56.0%) あまり良くない 1,062人 (15.8%)
 良くない 188人 (2.8%) 未回答 278人 (4.1%)
 自宅で暮らし続けるうえで不便をきたしているか : 有 1,497人 (22.3%) 無 4,962人 (74.0%) 未回答 245人 (3.7%)

今の自宅で暮らし続けるうえで不便をきたしているかで『ある』と回答した人のうち、自宅でくらしつづけるために必要な援助（複数回答）で、最も多いのは、外出移動（1,087件）、次はゴミ出し（316件）、食事（267件）であった。
 桔梗が丘では、必要な援助が『ある』の回答は409件で、外出移動（64.3%）、食事（15.6%）、ゴミ出し（11.5%）だった。

桔梗が丘の高齢者に必要な支援（令和5年度調査）



お助けセンター「配食サービス」



地域福祉部会（民児協）サロン活動



買物弱者支援と見守り「移動販売車」

高齢化の進行と新たな課題

<桔梗が丘の特徴>

- ・人口が名張市で一番多い地域（名張市の18.3%を占める）
- ・桔梗が丘西を除外、
 高齢化率（65歳以上）40.4% 後期高齢者（75歳以上）割合 26.0%

日本人の平均寿命 84.3歳（男性81.5歳、女性86.9歳）
 日本人の健康寿命 74.1歳（男性72.6歳、女性75.5歳）

*平均寿命とは、「0歳における平均余命」のことで、生まれてから亡くなるまでの生存している期間の平均
 *健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されており、自立して健康に過ごせる期間の平均

桔梗が丘西を含む、
 65～69歳 790人、70～74歳 1021人、75歳以上 2884人が
 自立して健康に過ごすことができるような取り組みが重要



介護予防の普及活動「桔梗が丘まちの保健室」

地域共生社会実現に向けた意見交換

昨年12月12日(木)、市民センターで地域包括支援センター・まちの保健室・桔梗が丘民生委員児童委員協議会・自治連合会4ブロック代表・協議会の関係者が出席して話し合いが行われました。

意見交換会出席者 (敬称略)

○名張市協働のまちづくり推進室	吉本成伺	
○名張市地域包括支援センター	半田公美	
桔梗が丘まちの保健室	村上理恵	湊 栄
	酒井和代	
○桔梗が丘自治連合協議会	会長 大垣孝彦	
○自治連合会4ブロック代表	関田 昇	白岩昌紀
	吉岡和男	小石雅之
○桔梗が丘民生委員児童委員協議会	会長 村田憲子	
	桔梗寿子	藤本由紀子
(司会) 企画運営委員会	委員長 辻森保蔵	
	事務局 金谷保史	



出席者の主な意見

地域包括支援センター・まちの保健室

介護施設のデイサービス利用者が増大し、入所待ちの状態であり、身近に運動ができる場所の確保は、介護予防のために必要です。

今後、モデル地域を指定して介護予防を進めていきたい。



民生委員児童委員協議会

- 高齢者の顔が見える範囲で、サロン・イベント・行事等で年間をとおして見守り活動をしています。
- サロン、友愛訪問等見守り活動をしているが、民児協だけでは負担が大きく、地域全体で見守り、世代間の交流につなげていくことが必要です。
- 近所付き合いが緊急時の対応につながっています。



自治連合会4ブロック代表

○集会所を利用し、自治会・区独自にサロン活動をして横のつながりを大事にしています。参加者が固定されているのが課題となっています。

○高齢者の見守りは、民児協との連携が不可欠ですが向こう三軒両隣が基本です。



自治連合協議会

お助けセンターの活動は、ボランティア支援スタッフの高齢化等に伴い、安定して継続していくためには、自治連合会との連携協力等が必要となっています。



2時間ほどの話し合いで様々なことが関係者の共通認識となり、今後も継続して意見交換を重ね、桔梗が丘における地域共生社会の実現をめざすことになりました。

地域力(地域づくり組織)の限界にチャレンジ

名張市15地域づくり代表者会議においても、地域の力にも限度があり、これ以上対応できない状況であるとの認識に立ち、話し合いが行われています。

民児協の活動範囲が広がり、民生委員児童委員の担い手が少なくなっていることから、自治連合会との連携協力がこれまで以上に必要となっています。

協議会としては、今後も地域力を上げるため住民皆さんの力を結集して取り組んでいきます。

～楽しい子どもたちのつどい～



みんなで遊んだ 「ハッピーニューイヤー・ ききょうフェスタ」

1月12日(日)、市民センターで開催のフェスタに幼児・小中学生64名が参加。地域福祉部会スタッフと一緒にいろんな種類の世界のおもちゃで遊んだり、教育文化部会の「桔'ずひろば」で折り紙やゲームを楽しみました。今年は、コロナ禍で中止していた「お菓子の屋台村」も復活。子どもたちは嬉しそうに好きなお菓子を選んでいました。

住民交流部会

12月14日「冬の桔'ずセミナー」開催

今回から、頭と手、会話で遊ぶ「ボードゲームを体験」がセミナーに加わり、市民センターの「料理」、南センターの「手芸」「囲碁」「科学」の五つのセミナー会場は元気な子どもたちで熱気がいっぱい。

友だちやスタッフ、ボランティアの人と交流もでき楽しい時間を過ごしました。

教育文化部会



南区クリスマス会

12月14日(土)、南市民センターで南区主催、民児協・さわやかクラブ共催のクリスマス会を開催。

子どもたちは大正琴の演奏でクリスマスの曲を聴いた後、バルーンアートをしたりマジックショーを楽しんで、サンタさんからお菓子のプレゼントをもらいました。



どうぶつ村のクリスマス会

12月17日(火)、市民センター講堂のききょうなかよし広場に乳幼児・保護者64人が参加して、楽しいクリスマス会が開催されました。

民生委員児童委員らが、どうぶつ村のクリスマス会を演じ、サンタさんから嬉しいプレゼントがありました。

地域福祉部会(民児協)



年末恒例20回目を迎えた「プチコンサート」

12月21日(土)、桔梗が丘中学校音楽部、名張高校吹奏楽部、名張青峰高校吹奏楽部によるコンサートが市民センターで開催され、300人の来場者から盛大な拍手が贈られました。



「公園で鬼ごっこ」 みんなの居場所 Smiley

楽しかったクリスマスやお正月の冬休みが終わった1月8日(水)、みんなの居場所「Smiley」には3学期始業式から帰ってきた元気な子どもたち50人程がやってきました。

早速、さくら公園(西5番町)で冷たい風が吹きすさむ中、久し振りに会った友だちと白い息を吐きながら鬼ごっこを始めました。





北林 俊秀さん
(7番町1区)

太極拳でいきいき 健康と体力づくり

一概に太極拳と言っても、全身をリラックスさせ屈伸運動で血行をよくする気功太極拳や、ゆっくりとした動きの中で足腰などを鍛える武術太極拳などがあり、私は優雅健身太極拳サークルに入会しています。

腰痛をきっかけに2010年から健身・養生・医療・美容に効果がある太極拳を始め、地域の皆さんの健康と体づくりにと、2017年に「中国体操」を立上げて、東小学校南側の17号公園高台で、金曜日朝8時15分より15人位で太極拳をしています。興味のある方は参加してください。

協議会の健康推進部会に所属して部会のイベントでも活動している他、趣味の写真・伊勢型紙にも興じています。



サークル紹介

vol.30

桔梗が丘水墨画クラブ

飯田先生の指導のもとで、水墨画の特徴である「にじみ、ぼかし、かすれ」等の技法を基礎から学び、四季折々の風景や人物、花鳥等を描いています。

会員の学習成果の向上を図る目的で、積極的に作品発表の機会を設けています。

また、会員相互の親睦を深めることも大切にしています。

水墨画に興味のある方は、活動の様子を是非見に来てくださいます。



市民センター 第2・4水曜日 13:00~15:00

サークルの問合せは市民センター ☎65-1206 まで

防犯・防火パトロールで安心・安全の“ほっとまち”桔梗が丘



消防団年末特別警戒防火パトロール



7番町2区防犯パトロール



7番町1区防犯パトロール



南区年末防犯パトロール

年末年始の空き巣、火災への意識高揚を図るため、12月27日(金)、夜間の防犯・防火パトロールが3地区で行われました。

このうち、南区は集会所横1号公園に参集後、拍子木のカチカチに合わせて「火の用心」と、家族連れで参加した子どもたちも大きな声を出して地区を回りました。

また、消防団桔梗が丘班(11名)は29日・30日市民センターに「年末特別警戒本部」を置き、年末の安心・安全確保のため地域内4ブロックを1時間交代で深夜までパトロールしてくれました。

委員会・部会・事業部会紹介⑥

高齢者を対象とした桔梗が丘「陽だまりのつどい」「友愛訪問」「いきいきサロン」子育て支援の「ききょうなかよし広場」「障がい者グループホーム交流会」などの活動を行っています。

人と人とのつながりを深め、支援の必要な人たちの見守り活動をしています。

民生委員児童委員34名を含む地域福祉部会会員45名での活動です。



地域福祉部会

受継がれるお正月の行事「どんど」

お正月のしめ縄、門松などの縁起物等を持ち寄って燃やす「どんど」が、2番町どんど保存会(三角公園)と鹿島宮で行われました。

昨今の環境汚染に十分配慮して焚き上げる物が限定されていますが、ルールを守って地域の文化を皆で後世に引き継いでいきましよう。



1/15 鹿島宮神事「どんど」



1/13 2番町どんど保存会

お知らせ



LINE公式
アカウント



Facebook公式
アカウント



協議会HP

お知らせに関する問合せ、申込先は、
桔梗が丘市民センター内 桔梗が丘自治連合協議会 ☎65-1206まで



「おひさま市場」(空き店舗にて)

毎週火曜日・金曜日 10時～12時
第3金曜日は空き店舗前でマルシェ開催
問合せ 細川さん(3番町) ☎080-6918-1663

干支の絵馬90点で飾られた新春のロビー

ほっとまち茶房ききょうNEWS

1月9日(木)～1月30日(木)、石川勉先生(4番町)が指導している桔梗マルマル絵画教室・名張YMクラブ・上野スケッチ教室・桐ヶ丘スケッチ教室が合同で絵馬の作品を展示、お気に入りの絵馬への投票が行われました。



新春毛筆書き初め コンクール書道展

▶日時 2月4日(火)～2月21日(金)
10時～17時(土日も開催)

▶場所 ライフアート(2番町)
3階ホール

桔梗が丘地域の幼稚園・小中学生・高校生、書道サークル皆さんの作品も展示しています

会場へは徒歩にてお越しください

普通救命講習会

生活安全部会

いざという時のために心肺蘇生法・AEDの取扱等を学びましょう

▶日時 3月9日(日) 9時～12時
8時45分集合

▶場所 名張消防署(鴻之台)2階

▶募集 15人

▶締切 2月22日(土)

▶申込 市民センター ☎65-1206

ききょうなかよし広場

地域福祉部会(民児協)

「親子ふれあい遊び」

▶日時 3月18日(火)
10時～11時30分

▶場所 市民センター 大会議室

▶対象 乳幼児と保護者



議会報告会 開催お知らせ

日時 3月29日(土)
13時30分～

場所 市民センター
大会議室

詳細は次号でお知らせします

29回目の「善意の食糧支援」

1月10日(金)、年末、年始に住民の皆さんからほっとまち茶房ききょうに届いたたくさんの善意の食糧が社会福祉協議会へ引渡しされました。

善意の食糧支援は小坂代表の発案で令和3年度から始まり今回で29回目の引渡し。レトルト食品、缶詰、パックご飯、インスタントラーメン等の食糧、現金での支援は食糧を購入し、社協へ届けています。

生活困窮者からお礼の辞が寄せられ、「皆さんの協力を得てこれからも支援活動を続けていきたい」と小坂代表は話しています。



右から小坂代表 岡森副代表
社協地域福祉課 中川さん

地域共生社会実現に向けた意見交換会では、桔梗が丘地域を取り巻く現状や課題等の話し合いが行われ、住民一人ひとりが力を合わせて課題解決に取り組んでいくことが必要だと再認識しました。

桔梗の森公園富士講田池には、今年も冬の渡り鳥カモが40～50羽飛来し、1月～3月の期間は水面で戯れる姿が見られ、美しい自然に出会うことができます。

「ききょう通信」は、自然豊かな地域の様子や日常の活動・行事等を現地に出向き記事にしています。各地区の活動等を取材に行きますので情報を寄せてください。

名張に春を呼ぶ2月7日、8日の「八日戎」は「えべっさん」として親しまれて、山の幸と海の幸の物々交換の名残りのハマグリが売られ賑わっています。

昨今では、小学校の授業に郷土の歴史、文化等を「名張学」として取り入れていきます。子どもたちには、郷土の歴史伝統文化を学び、後世に継承してほしいですね。

(編集スタッフ一同)

編集後記

桔梗の森公園（桔梗が丘10号公園）の概要

桔梗の森公園は、マツ・コナラを中心とした雑木林にサクラ・ドウダンツツジ・カエデバフウ・ヤマモミジなどを植樹し、季節ごとに花を咲かせ、紅葉の美しさを醸し出し、水辺景観と調和した自然公園として地域住民に親しまれています。

近年、マツ・コナラ等は害虫のまん延、サクラは木の寿命で枯れてきていて、みどりの会では、枯木の伐倒処理やサクラの植樹など保全活動を進めています。

公園の広さは約6ha、そのうち池（市・民有地）は約3ha、林地（私有地）は約3haです。公園の半分を占めている池は、弥生時代から小さな谷の雑木林に降った雨を集めた雨水を堰き止めてため池を造り、その水で谷間の湿地の水田を潤して農業が行われてきました。

公園にある池も、伊賀地方の丘陵地に約2,000箇所造られたため池のひとつです。

○「富士講田池」0.6 ha

江戸時代、地元にあった富士講（富士山に地区代表で詣でるための基金積立て会）の資金で建設されたと云われ、かつては農業用のため池でしたが、市が買収して水辺景観として利用しています。

○「丈六谷池」2 ha

昔、谷底の入口が1丈6尺（約5m）あったため、丈六谷と名付けられそこに造られた池なので丈六谷池と呼ばれ、民有地で農業用のため池として現在も美旗中村地区の農家が利用しています。

○「孫蔵池」0.4 ha

江戸時代に、地元の孫蔵さんが資金を出して建設した池だそうです。民有地で現在は水が溜まらず、池の機能はなくなっています。

園内には案内板がたくさんあります

桔梗が丘10号公園の植生について

人間が手を加える以前、この地方はシイなどの照葉樹林であったと考えられています。その後約800年の人間の活動の結果、現在見られるようなアカマツ林となっています。つい最近まで、落ち葉は肥料や糞き付けに、小枝は燃料に、木は建材にと無駄なく利用されていたので、非常に肥料分が少なくなっているのが特徴です。

(特徴的な植物)	(珍しい植物)
アカマツ	ミミカキグサ
コバノミツバツツジ	インモチソウ
ソヨゴ	ササユリ

公園の小鳥

コゲラ もともと奥山に生息するツツジ科、鶯科の鳥類。1匹で巣をつくる。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	シジュウカラ 樹上や地上で活動。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。
カワセミ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	ジョウビタキ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。
トラツグミ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	エナガ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。

桔梗が丘自治連合協議会 快適環境部会

桔梗が丘10号公園の地質について

ここ桔梗が丘をはじめ伊賀地方は、今から約400万年前の更新世時代にあった古琵琶湖に堆積した地層からなっています。伊賀焼に使われるような粘土と砂利、砂が交互に堆積している特徴があります。

古琵琶湖層の地層

公園の水鳥

バン くちばしの形と色が特徴的。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	ヒドリガモ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。
オオバン 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	ヨシガモ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。
カルガモ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。	ホシハシロ 水辺に生息する。ツツジ科、鶯科の鳥類。ツツジ科の鳥類は、ツツジ科の鳥類と異なり、卵を産むときに産卵管を拡張し、卵を産むときに産卵管が壊れる。産卵後には産卵管が壊れてしまう。

桔梗が丘自治連合協議会 快適環境部会

公園のパワースポット？

東屋の傍に、高さ15m程の珍しい樹形をしたマツが公園を見渡しています。

風にも動ぜず凛として立っているマツの木、近くから見上げればパワーが貰えそうです。



東屋の周辺は、毎朝6時30分からラジオ体操の会場になっています。